

栄議員 私、福井町長の公約についてお尋ねしたいと思います。福井町長におかれましては、去る4月26日の町長選挙において当選され、今後4年間、福井町政の発展のためご尽力されることになりました。ご健勝で、より良い成果を収められますことを住民の一人として記念申し上げる次第です。さて、あなたが住民に示された公約についてお尋ねいたします。どのような公約をなされているか、今、一度詳しくご説明をお願いします。つぎに、あなたが座右の銘とされているものがあれば、お教えてくださいようお願いします。どうぞよろしく。

枅富議長 福井町長。

福井町長 栄議員のご質問にお答えいたします。まず、私の座右の銘から申し上げます。元来、座右の銘とは、常に自分の心に留めておき、戒めや励ましとする言葉ですが、私は、戒めとする言葉が沢山ありますので、選択に苦慮いたしますが、町長という立場も合わせれば、宮本武蔵の言った『我、事において後悔せず』を挙げたいと思います。後悔しないよう、今、全力を尽くすべきと解するのか、事にあたり全力を尽くせば後悔する必要はないと解するのか、分かりませんが、とにかく町政にかかることは、大きな失敗はできないので、全力というか、四六時中考えることとしています。つぎに公約について申し上げます。今回の選挙で、公約とさせていただいたものは、まず、牟岐町創生に取り組むこと。今後も防災対策に継続して取り組むこと。出羽島の重伝建の選定を行うこと。海部病院の跡地を有効に活用することです。これまでも縷々申しましたように、牟岐町創生では、雇用と人口を増加させるため、まずは一次産業の再生を図り、これを二次、三次と発展させていくこと。そのために、私は、一次産業の法人化が必要であると考えています。防災対策では、まずは、避難所・避難路の充実をはかるため、今の市宇ヶ丘学園の二次避難所の他に二眼レフ構想で、海部病院移転地の横に避難所をつくる予定です。当然、これに併せ備蓄品等も順次、備えていく必要があります。つぎに出羽島の重伝建の選定では、現在の計画では、平成28年12月に選定される予定ですが、引き続き、計画的に、住戸の改修や、公共施設の整備を進めて参ります。そして、現在の島民の方々が将来に不安なく生活できるよう交流人口の増加だけではなく、Uターン、Iターンも積極的に進めていく必要があります。つぎに海部病院跡地の有効活用でございますが、現在の海部病院は、平成29年3月に、造成中の高台に移転することとなります。現在の海部病院は、牟岐町の中心部に位置していることから、牟岐町創生のためにも、これを空き家にすることは絶対にできないと考えています。まずは、施設の所有者である徳島県に、県として必要な施設としての活用をお願いするとともに、牟岐町としても活用すべく検討して参りたいと考えています。その具体の用途は、今後設置する予定の県と町の検討会議の中で詰めていきたいと考えています。以上、公約実現のため、この4年間、悔いのないよう全力で取り組んで参りたいと考えています。

枡富議長 榮議員。

榮議員 いろいろ残されたこともあって、福井町長も大変かと思いますが、できるだけ公約を早く実現させていただいて、より良い牟岐町にしていただければと思っています。どうもありがとうございました。